



取扱説明書

FlexScan® S1503-A

カラー液晶モニター

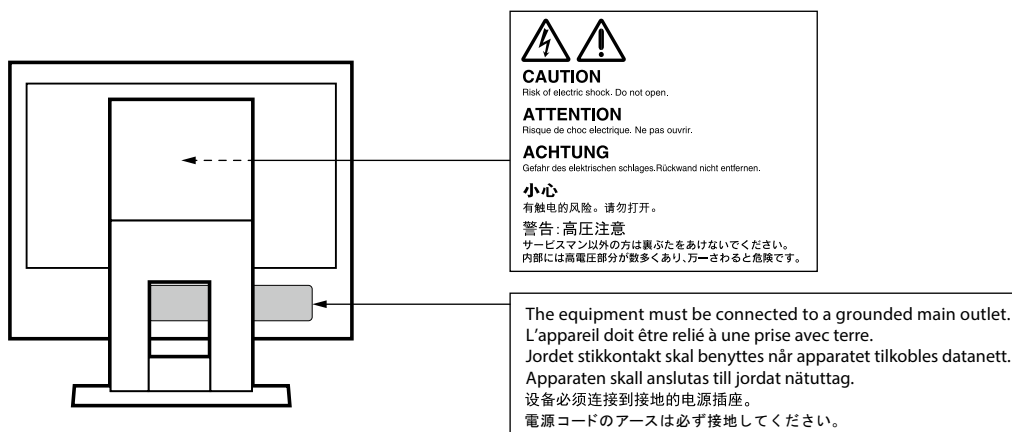
重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書および使用上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

- ・モニターの設置 / 接続については、セットアップガイドを参照してください。
- ・取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

<http://www.eizo.co.jp>

警告表示位置



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています（1日あたり約12時間の使用を想定）。

次のような極めて高い信頼性 / 安全性が必要とされる用途で使用する場合は、安全性を確保する措置を施した上でご使用ください。

- 運送機器（船舶、航空機、列車、自動車など）
- 防災防犯装置など各種安全装置
- 生命に直接関わる装置（生命維持装置や手術室用機器など医療用装置）
- 原子力制御機器（原子力制御システム、原子力施設の安全保護系システムなど）
- 幹線通信機器（輸送システムの運転制御システム、航空管制制御システムなど）

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

モニターの表示が安定するまでに、約30分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げてください。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネル面や液晶パネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干涉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、液晶パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押ししたり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナーは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- キャビネットや液晶パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（別売オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。
-

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

モニターについて.....	3	第4章 管理者向け設定.....	21
クリーニングの仕方.....	4	4-1. 「Administrator Settings」メニューの基本 操作方法.....	21
モニターを快適にご使用いただくために.....	4	4-2. 「Administrator Settings」メニューの各機 能.....	22
目次.....	5	第5章 こんなときは.....	23
第1章 はじめに.....	6	5-1. 画面が表示されない場合.....	23
1-1. 各部の名称と機能.....	6	5-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共 通）.....	24
● 前面.....	6	5-3. 画面に関する症状（アナログのみ）.....	25
● 背面.....	7	5-4. その他の症状.....	26
1-2. 対応解像度.....	7	第6章 ご参考に.....	27
● アナログ信号（D-Sub）入力時.....	7	6-1. オプションアーム取付方法.....	27
● デジタル信号（DVI-D）入力時.....	7	6-2. 複数のコンピュータを接続する.....	28
1-3. 解像度を設定する.....	8	6-3. 仕様.....	29
● Windows 10の場合.....	8	● オプション.....	29
● Windows 8.1 / Windows 7の場合.....	8	付録.....	30
● OS X Mountain Lion（10.8）以降の場合.....	8	商標.....	30
● Mac OS X 10.7の場合.....	8	ライセンス.....	30
第2章 基本の調整 / 設定.....	9	VCCI.....	30
2-1. スイッチの操作方法.....	9	その他規格.....	30
2-2. 入力信号を切り替える.....	10	アフターサービス.....	31
2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える...10			
● モードの種類.....	10		
2-4. Ecoに使う.....	10		
2-5. 明るさを調整する.....	12		
2-6. 音量を調整する.....	12		
第3章 詳細な調整 / 設定.....	13		
3-1. 設定メニューの基本操作方法.....	13		
3-2. 設定メニューの各機能.....	14		
● カラー調整.....	14		
● 信号設定.....	17		
● 本体設定.....	19		
● 言語選択.....	20		
● インフォメーション.....	20		

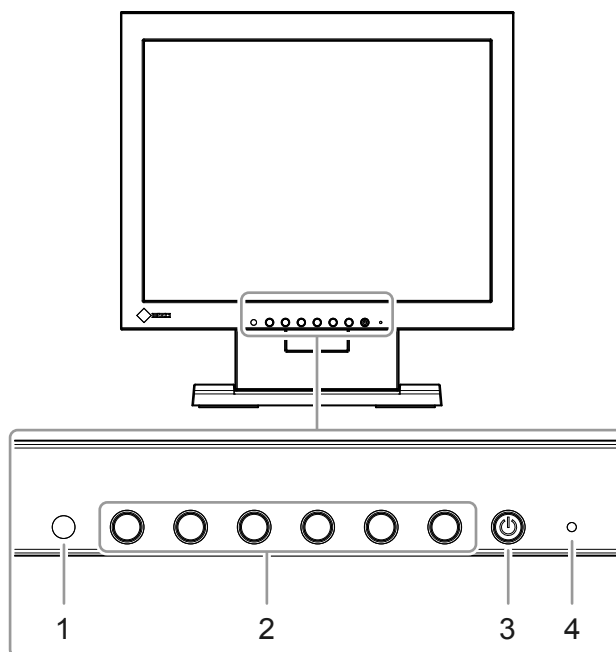
第1章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

この章では、モニターの各部の名称と解像度について説明します。

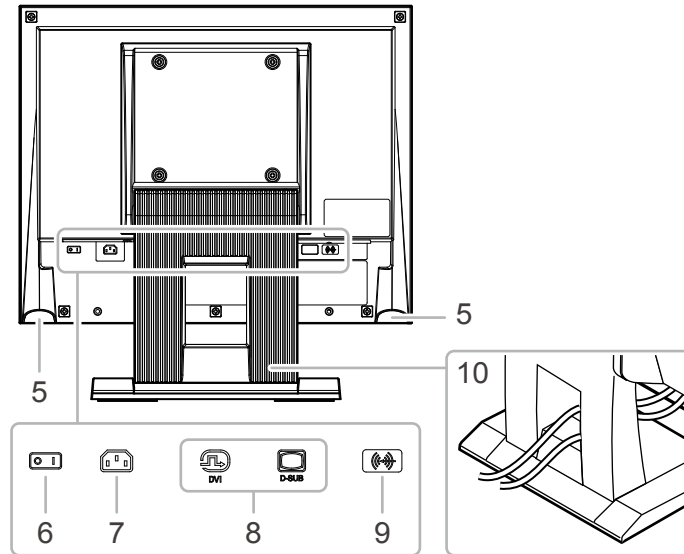
1-1. 各部の名称と機能

● 前面



1. 外光センサー	周囲の明るさを検知します (Auto EcoView (オートエコビュー) 機能 (P.11))。
2. 操作スイッチ	メニューを表示します。操作ガイドに従って操作します (P.13) 。
3. 電源スイッチ	電源のオン/オフを切り替えます。
4. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 白：画面表示 橙：省電力モード 消灯：電源オフ

● 背面



5. スピーカー	音声を再生します。
6. 主電源スイッチ	主電源のオン/オフを切り替えます。 : オン ○ : オフ
7. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
8. 信号入力コネクタ	左 : DVI-Dコネクタ / 右 : D-Sub15ピン (ミニ) コネクタ
9. アナログ音声入力コネクタ	外部音声をモニターで再生できるようにします。
10. スタンド※1	角度 (チルト) が調整できます。

※1 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム (またはオプションスタンド) に取り付けることが可能になります (「6-1. オプションアーム取付方法」 (P.27) 参照)。

1-2. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

● アナログ信号 (D-Sub) 入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640 x 480	VGA	60Hz	65MHz (Max.)
720 x 400	VGA TEXT	70Hz	
800 x 600	VESA	~ 60Hz	
1024 x 768※1	VESA	60Hz	

● デジタル信号 (DVI-D) 入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640 x 480	VGA	60Hz	65MHz (Max.)
720 x 400	VGA TEXT	70Hz	
800 x 600	VESA	60Hz	
1024 x 768※1	VESA	60Hz	

※1 推奨解像度です。

1-3. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

● Windows 10の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、右クリックします。
2. 表示されるメニューから「ディスプレイ設定」をクリックします。
3. 「ディスプレイのカスタマイズ」ダイアログボックスで「ディスプレイの詳細設定」をクリックします。
4. モニターを選択し、「解像度」のプルダウンメニューから解像度を選択します。
5. 「適用」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更の維持」ボタンをクリックします。

● Windows 8.1 / Windows 7の場合

1. Windows 8.1の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、右クリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. モニターを選択し、「解像度」のプルダウンメニューから解像度を選択します。
5. 「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

● OS X Mountain Lion (10.8) 以降の場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ディスプレイ」をクリックします。（OS X Mountain Lion (10.8) の場合は、「ハードウェア」欄から「ディスプレイ」をクリックします。）
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」から「変更」を選択します。
4. 設定可能な解像度の一覧が表示されるので、一覧から解像度を選択します。目的の解像度が一覧に表示されない場合は、キーボードのOptionキーを押しながら「変更」を選択してください。
5. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

● Mac OS X 10.7の場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

第2章 基本の調整 / 設定

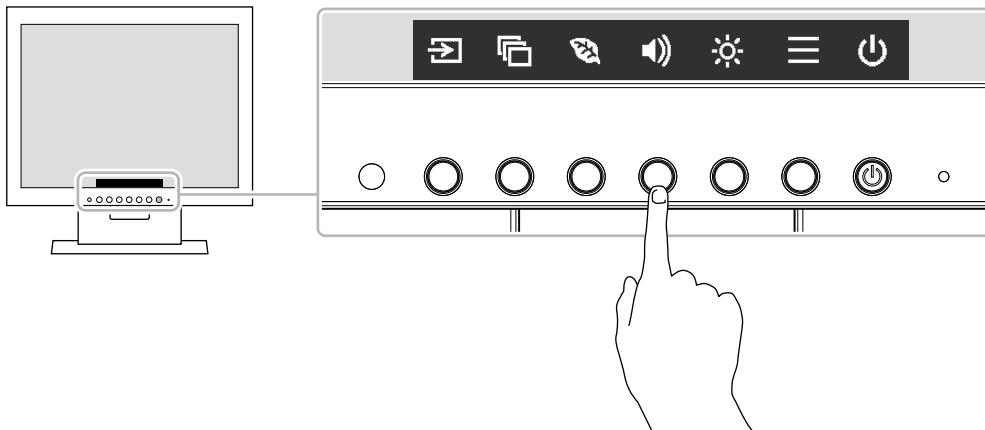
このモニターは、使用環境やお好みにあわせて明るさを変えたり、消費電力を抑えてEcoに使ったりすることができます。

この章では、モニター前面のスイッチを押すことで調整 / 設定できる基本の機能を説明します。設定メニューを使って詳細に調整 / 設定する方法については「第3章 詳細な調整 / 設定」(P.13)を参照してください。

2-1. スイッチの操作方法

1. 操作ガイドの表示

1. いずれかのスイッチを押します（ \odot を除く）。
画面に操作ガイドが表示されます。



2. 調整 / 設定

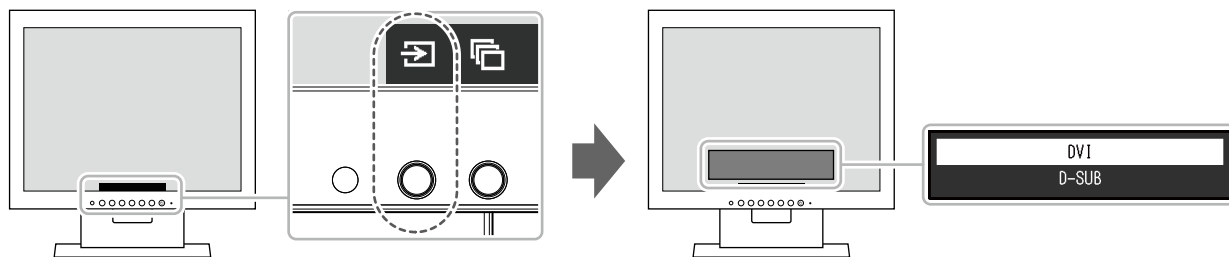
1. 調整 / 設定したいスイッチを押します。
調整 / 設定メニューが表示されます。
(サブメニューが表示される場合もあります。その場合は、 \blacktriangle \blacktriangledown で調整 / 設定したい項目を選択し、 \blackcheckbox を選択します。)
2. 各スイッチで調整 / 設定し、 \blackcheckbox を選択して確定します。

3. 終了

1. \blackbox を選択してメニューを終了します。
2. メニューが表示されていない状態で、数秒間スイッチを操作しないと、操作ガイドが自動的に終了します。

2-2. 入力信号を切り替える

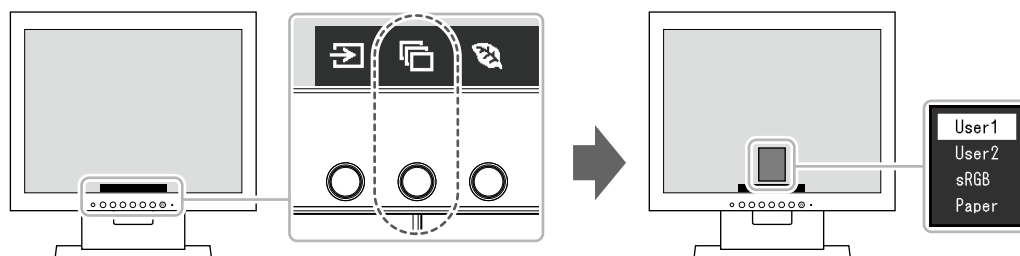
モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。



2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える

この製品は、表示用途に適したカラーモードをあらかじめ準備しています。

用途や表示内容に合わせてモードに切り替えてみましょう。コンテンツに適した状態で画像を見ることができます。



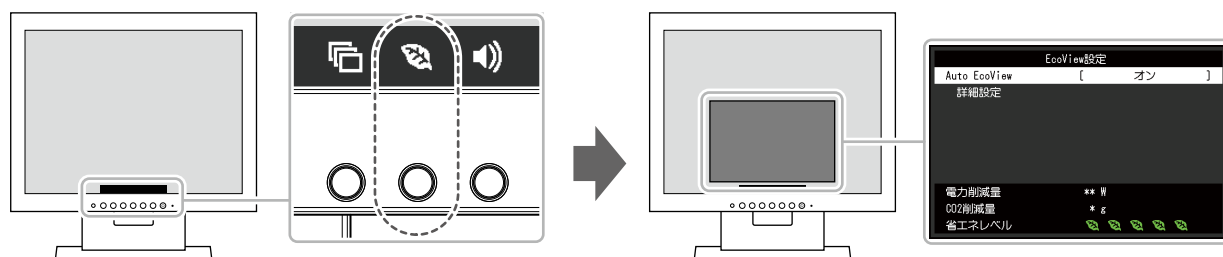
● モードの種類

カラーモード	目的
User1 User2	お好みの表示に設定したい場合に選択します。
sRGB	デジタルカメラで撮影した写真をプリンタで印刷するなど、sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Paper	紙に似た色味とコントラストで、紙に印刷したような見え方になります。書籍や文書などの表示に適しています。

2-4. Ecoに使う

この製品には、モニターをEcoに使うためのEcoView機能が搭載されています。

ムダな電力の消費を抑えて、電気代を節約しましょう。省電力はCO₂の排出量の削減にもつながります。



参考

- 「EcoView設定」メニューでは省電力の度合い（電力削減量、CO₂削減量、省エネレベル）を確認できます。省エネレベルを表すインジケータが多く点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。
 - 電力削減量：ブライツネスの調整値に応じた、バックライト消費電力の低減量です。
 - CO₂削減量：電力削減量から換算した、モニターを1時間使用した場合に削減できるCO₂排出量の目安です。
- 数値は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令（平成18年経済産業省 環境省令第3号）に定める初期設定値（0.000555t-CO₂/kWh）」を元に算出しており、国、年度などによって変わる可能性があります。

機能		説明
Auto EcoView (オートエコビュー)		<p>Auto EcoViewを使用するとモニター下部の外光センサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。明るさを適切に調整することで、バックライトにかかる電力を抑えることができます。</p> <p>さらに、画面がまぶしすぎたり暗すぎたりすることによる目への負担や疲労を和らげます。</p> <p>「詳細設定」で、モニターの使用環境やお好みにあわせて、自動調整の範囲を設定することもできます。</p> <p>設定範囲：オン、オフ</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto EcoView機能を使用する場合は外光センサーをふさがないように注意してください。 • Auto EcoViewの設定が「オン」の場合でも、お好みにあわせて、モニター前面の操作スイッチ（※）またはカラー調整で「ブライツネス」を変更することができます。また、変更した値に合わせて、Auto EcoViewの明るさの変化の仕方も変わります。
詳細設定	最大値 最小値	<p>自動調整の明るさの範囲を設定します。調整範囲の最大値と最小値をあらかじめ設定することで、設定した範囲内でのみ、明るさが自動調整されます。</p> <p>設定範囲：0～100</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最大値と最小値のブライツネスを同じ値にすることはできません。
	環境光	<p>初期設定で使用されることをお勧めします。 (初期設定：最大値「明」、最小値「暗」)</p> <p>設定範囲：明、暗、標準</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「環境光」の設定について、詳細は当社のWebサイトを参照してください (http://www.eizo.co.jp)。
	リセット	<p>詳細設定の設定内容を初期設定に戻します。</p>

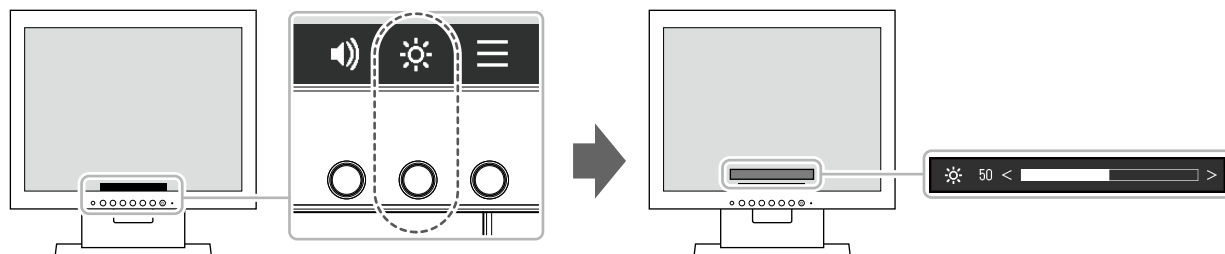
2-5. 明るさを調整する

設置環境やお好みにあわせて、画面の明るさを調整できます。

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100



参考

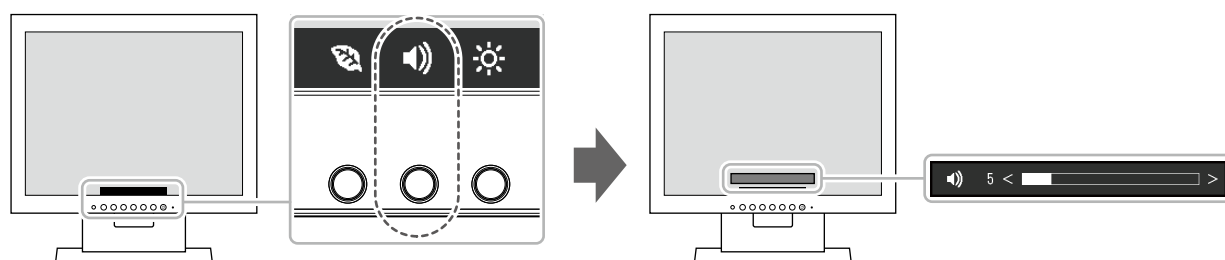
- Auto EcoViewが「オン」に設定されている場合、調整範囲に次のような制限があります。（Auto EcoViewについては、「[Auto EcoView](#)」（P.11）を参照してください。）
 - Auto EcoViewの詳細設定の最大値 / 最小値のブライトネス値より、設定を上げる / 下げることができません。
 - モニターの設置環境が極端に明るすぎたり、暗すぎたりする場合は、「ブライトネス」の調整ができないことがあります。

2-6. 音量を調整する

スピーカーの音量を設定することができます。

設定範囲

0～30




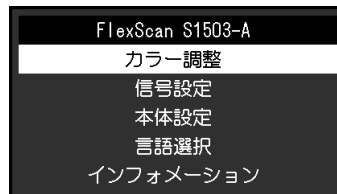
第3章 詳細な調整 / 設定

この章では、設定メニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。
基本的な機能については、「第2章 基本の調整 / 設定」(P.9)を参照してください。




3-1. 設定メニューの基本操作方法

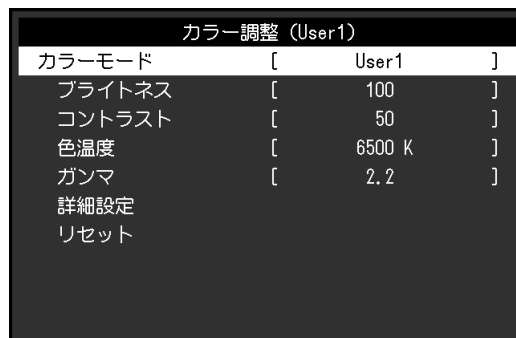
1. メニューの表示




1. いずれかのスイッチを押します (⏻を除く)。
操作ガイドが表示されます。
2.  を選択します。
設定メニューが表示されます。









2. 調整 / 設定

1.   で、調整 / 設定したいメニューを選択し、 を選択します。
サブメニューが表示されます。



2.   で、調整 / 設定したい項目を選択し、 を選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。



3.   または   で、調整 / 設定し、 を選択して確定します。
サブメニューが表示されます。
調整 / 設定中に  を選択すると、調整 / 設定を中止して変更前の状態に戻ります。

3. 終了

1.  を数回選択すると、設定メニューが終了します。

3-2. 設定メニューの各機能

● カラー調整

カラーモードの設定状態を、お好みにあわせて調整できます。



注意点

- ・ 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- ・ モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

調整できる機能は、カラーモードにより異なります。

○：調整可 ー：調整不可

機能	カラーモード			説明
	User1 User2	sRGB	Paper	
カラーモード	○	○	○	<p>モニターの用途に応じた表示モードに切り替えます。</p> <p>カラーモードの設定状態はお好みにあわせて、調整することもできます。調整するモードを選択し、各機能で調整してください。</p> <p>設定範囲：User1、User2、sRGB、Paper</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各モードの調整状態は、「2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える」（P.10）を参照してください。
ブライトネス	○	○	○	<p>バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。</p> <p>設定範囲：0～100</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブライトネスが100でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。

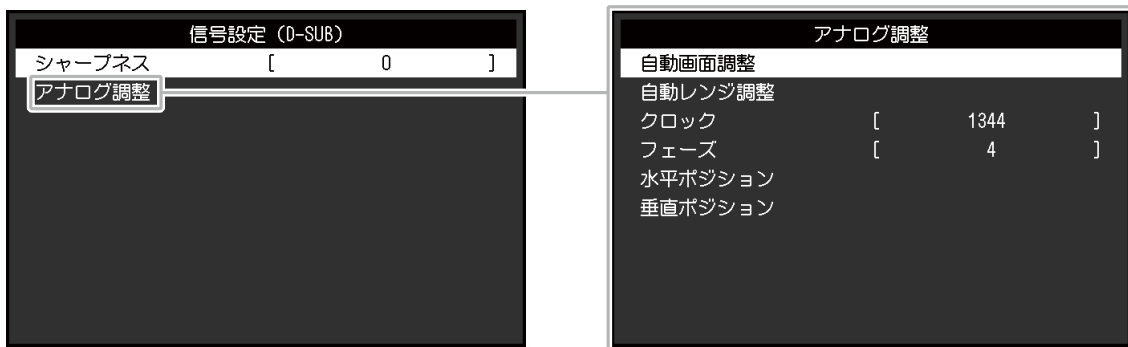
機能	カラーモード			説明
	User1 User2	sRGB	Paper	
コントラスト	○	ー	ー	<p>ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。</p> <p>設定範囲：0～100</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 50ですべての色階調を表示します。 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。 コントラスト調整は次のような場合に使用してください。 <ul style="list-style-type: none"> - ブライトネスが100でも画面が暗いと感じたとき。（コントラストを50以上に設定します。）
色温度	○	ー	○	<p>色温度を調整します。</p> <p>通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。</p> <p>炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。</p> <p>設定範囲：オフ、4000K～10000K（500K単位、9300K含む）</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。 「オフ」で液晶パネル本来の色（ゲインの値はRGB各100）になります。 ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
ガンマ	○	ー	ー	<p>ガンマ値を調整します。</p> <p>モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係がありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。</p> <p>設定範囲：1.8、2.0、2.2、2.4</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> カラーモードで「Paper」を選択すると、ガンマ値は「Paper」と表示されます。

○：調整可 ー：調整不可

機能		カラーモード			説明
		User1 User2	sRGB	Paper	
詳細設定	色合い	○	ー	ー	色合いを調整します。 設定範囲：-50～50 参考 ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
	色の濃さ	○	ー	ー	色の濃さを調整します。 設定範囲：-50～50 参考 ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 ・最小値（-50）で白黒の画面となります。
	ゲイン	○	ー	ー	色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。 設定範囲：0～100 参考 ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。 ・ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
リセット		○	○	○	現在選択しているカラーモードのカラー調整値を初期設定に戻します。

● 信号設定

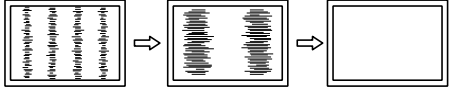
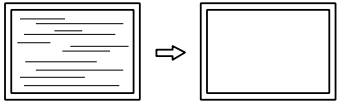
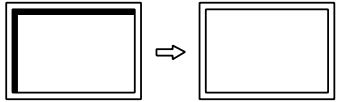
コンピュータから入力された信号を、モニターに出力する方法を設定します。



各機能の設定範囲は、入力信号により異なります。

○：設定可 ー：設定不可

機能	入力信号		説明
	DVI	D-Sub	
シャープネス	○	○	<p>低解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。このぼやけを軽減することができます。</p> <p>設定範囲：-2～2</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示解像度によってはシャープネスを設定する必要はありません。（「シャープネス」を選択することはできません。）
アナログ調整	ー	○	<p>画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整することができます。「自動画面調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。 <ul style="list-style-type: none"> - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合 - 壁紙など背景を黒で使用している場合 また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。 モニターに初めて信号を入力した場合、またはこれまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合は、自動的にセルフアジャスト機能が働きます（解像度が800×600（SVGA）以上の信号のみ）。
		○	<p>信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように自動調整できます。「自動レンジ調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。</p>

機能		入力信号		説明
		DVI	D-Sub	
クロック	ー	○	画面の縦線や画面の一部に見られるちらつきを軽減できます。 	
フェーズ	ー	○	画面全体のちらつきやにじみを軽減できます。 	
水平ポジション 垂直ポジション	ー	○	画面の表示位置（水平、垂直）を調整できます。 	

参考

- ・ 設定が合ったポイントを見逃しやすいので、操作スイッチ（< >）を押して、細かく調整してください。

参考

- ・ お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。
- ・ 設定後、画面に縦縞が現れた場合は、再度「クロック」を調整してください。

参考

- ・ 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

● 本体設定

使用環境やお好みにあわせて、モニター本体の設定をおこないます。

本体設定		
メニュー回転	[0°]
パワーセーブ	[オン]
電源ランプ	[オン]
オールリセット		

機能	説明
メニュー回転	<p>モニターを縦表示にした場合は、設定メニューの向きも変更することができます。</p> <p>設定範囲：0°、90°</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください (http://www.eizo.co.jp)。
パワーセーブ	<p>コンピュータの状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。省電力モードに移行すると、画面を非表示にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードからの復帰方法 <ul style="list-style-type: none"> - モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。 <p>設定範囲：オン、オフ</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。 モニターを使用しない時は、主電源を切るか、電源プラグを抜くことで電力が消費されなくなります。 ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。
電源ランプ	<p>画面表示時の電源ランプ（白）を消灯することができます。</p> <p>設定範囲：オン、オフ</p>
オールリセット	<p>次の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Administrator Settings」メニュー内の設定 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Administrator Settings」メニューについては、「第4章 管理者向け設定」(P.21)を参照してください。

● 言語選択

メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。

設定範囲

English、Deutsch、Français、Español、Italiano、Svenska、日本語、簡体中文、繁體中文

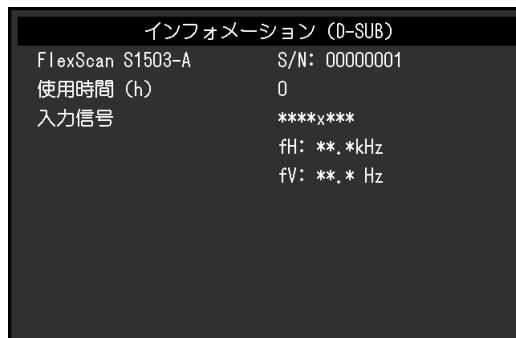


注意点

- ・ 「Administrator Settings」メニューの表示言語は変更されません。

● インフォメーション

モニターの情報（製品名、製造番号、使用時間、入力信号、解像度）を確認できます。



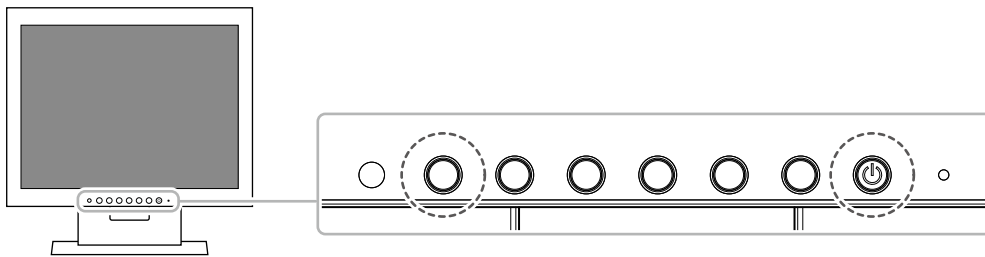
第4章 管理者向け設定

この章では、「Administrator Settings」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。このメニューは管理者用です。通常のモニター使用時には、設定の必要はありません。

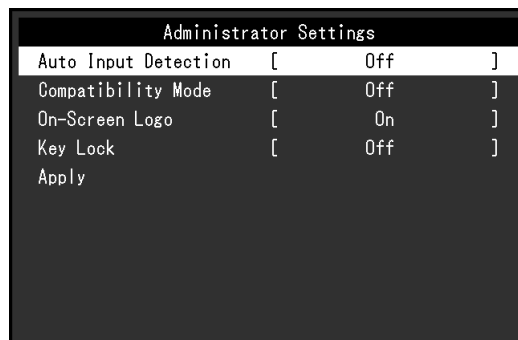
4-1. 「Administrator Settings」メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1. 電源ボタンを押して、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のスイッチを押しながら、電源ボタンを2秒以上押してモニターの電源を入れます。

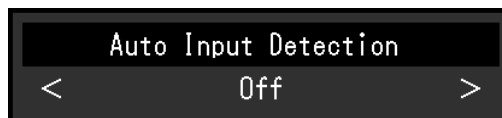


「Administrator Settings」メニューが表示されます。



2. 設定

1. 上下方向キーで、設定したい項目を選択し、Enterキーを選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。



2. 左右方向キーで、設定し、Enterキーを選択します。
「Administrator Settings」メニューが表示されます。

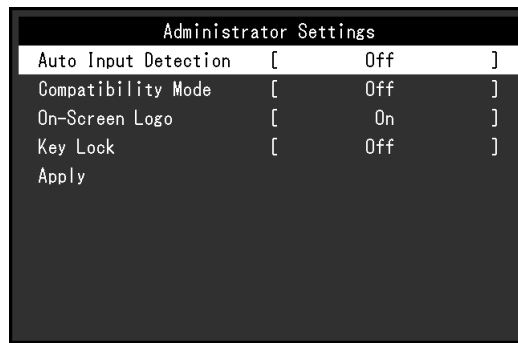
3. 確定と終了



1. 「Apply」を選択し、Enterキーを選択します。
設定が確定し、「Administrator Settings」メニューが終了します。

注意点

- ・「Administrator Settings」メニューの言語（英語）は変更できません。

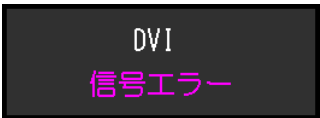
4-2. 「Administrator Settings」メニューの各機能












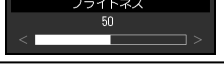
機能	説明
Auto Input Detection	<p>この製品は、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。コンピュータが省電力モードに入ると、自動的に他の信号を表示します。</p> <p>この機能を「Off」に設定すると、信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択しているコネクタからの信号が表示されます。この場合は、モニター前面の操作スイッチ（) で表示する入力信号を選択してください。</p> <p>設定範囲：On、Off</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能の設定にかかわらず、背面の主電源スイッチを入れた直後は、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。 この機能が「On」に設定されている場合、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみ、モニターの省電力機能が動作します。
Compatibility Mode	<p>ご使用のコンピュータおよびグラフィックスボードによっては、入力信号が検出されず、省電力モードから復帰しない場合があります。その場合は、この機能を「On」に設定してください。</p> <p>設定範囲：On、Off</p>
On-Screen Logo	<p>この製品の電源を入れると、画面にEIZOロゴが表示されます。</p> <p>この機能を「Off」に設定すると、EIZOロゴを非表示にすることができます。</p> <p>設定範囲：On、Off</p>
Key Lock	<p>設定した状態を変更できないように、モニター前面の操作スイッチをロックすることができます。</p> <p>設定範囲：Off、Menu、All</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Off」 すべてのスイッチが有効です。 「Menu」  スイッチをロックします。 「All」 電源スイッチを除くすべてのスイッチをロックします。

第5章 こんなときは




5-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">電源コードは正しく接続されていますか。背面の主電源スイッチを入れてください。⏻を押してください。背面の主電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：白色	<ul style="list-style-type: none">設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「カラー調整」(P.14) 参照）。
<ul style="list-style-type: none">電源ランプが点灯：橙色	<ul style="list-style-type: none">入力信号を切り替えてみてください。マウス、キーボードを操作してみてください。コンピュータの電源は入っていますか。ご使用のコンピュータおよびグラフィックスボードによっては、入力信号が検出されず、省電力モードから復帰しない場合があります。マウス、キーボードを操作しても画面が表示されない場合は、次の手順を実行してください。症状が改善される場合があります。<ol style="list-style-type: none">⏻を押して、モニターの電源を切ります。一番左側のスイッチを押しながら、⏻を2秒以上押し続けます。 「Administrator Settings」メニューが表示されます。「Compatibility Mode」を選択します。「On」を選択します。「Apply」を選択し、<input checked="" type="checkbox"/>を選択します。コンピュータを再起動します。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
<ul style="list-style-type: none">入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 例：	<ul style="list-style-type: none">コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「1-2. 対応解像度」(P.7) 参照）。コンピュータを再起動してみてください。グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

5-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください（「カラー調整」(P.14) 参照）。 （液晶モニターのパックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。） 画面が明るすぎる場合は、Auto EcoViewを「オン」に設定してみてください。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します（「Auto EcoView」(P.11) 参照）。
2. 明るさが勝手に変わる	<ul style="list-style-type: none"> Auto EcoViewを「オフ」に設定してみてください（「Auto EcoView」(P.11) 参照）。
3. 「ブライトネス」が調整できない	Auto EcoViewが「オン」に設定されている場合、Auto EcoViewの詳細設定により「ブライトネス」の調整ができないことがあります。
<ul style="list-style-type: none"> 設定値が上げられない / 下げられない （ または  がグレーに表示される） - 操作スイッチ（）による「ブライトネス」メニュー  <ul style="list-style-type: none"> - カラー調整の「ブライトネス」メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> Auto EcoView機能は、画面が明るすぎたり、暗すぎたりしないよう、ブライトネスの調整範囲を制限できます。調整範囲を制限している場合、その範囲を超える値に設定することができません。この範囲を超える値に設定したい場合は、次の設定を変更してみてください。 - Auto EcoViewの詳細設定で、最大値と最小値の「ブライトネス」の設定を変更する - Auto EcoViewを「オフ」に設定する Auto EcoViewの設定については、「 Auto EcoView 」(P.11) を参照してください。
<ul style="list-style-type: none"> 設定値が上げられない / 下げられない （ および  がグレーに表示される） - 操作スイッチ（）による「ブライトネス」メニュー  <ul style="list-style-type: none"> - カラー調整の「ブライトネス」メニュー 	<ul style="list-style-type: none"> モニターの設置環境が極端に明るすぎたり、暗すぎたりする場合は、「ブライトネス」の調整ができないことがあります。この場合は、次の設定を変更してみてください。 - Auto EcoViewの詳細設定で、最大値と最小値の「環境光」の設定を変更する - Auto EcoViewを「オフ」に設定する Auto EcoViewの設定については、「 Auto EcoView 」(P.11) を参照してください。
4. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「1-2. 対応解像度」(P.7) 参照）。 推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。設定メニューの「シャープネス」で調整してみてください（「シャープネス」(P.17) 参照）。
5. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。
6. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る / 点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
7. 画面上に干渉縞が見られる / 液晶パネルを押しただ跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。

5-3. 画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
<p>1. 画像がずれている</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ポジション」で画像の位置を合わせてください（「水平ポジション」「垂直ポジション」（P.18）参照）。 グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
<p>2. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「クロック」で調整してみてください（「クロック」（P.18）参照）。
<p>3. 画面全体がちらつく、にじむように見える</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「フェーズ」で調整してみてください（「フェーズ」（P.18）参照）。

5-4. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 設定メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none">操作スイッチのロックが機能していないか確認してみてください（「Key Lock」（P.22）参照）。
2. 音が出ない	<ul style="list-style-type: none">ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。音量が「0」になっていませんか。コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。

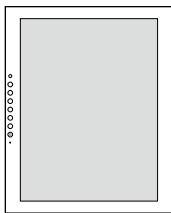
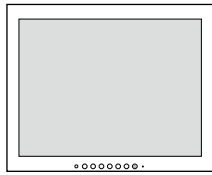
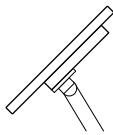
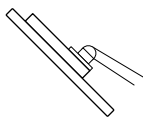
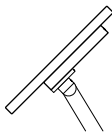
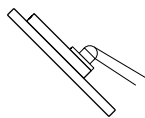
第6章 ご参考に

6-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。<http://www.eizo.co.jp>

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。取り付けには本体部分とスタンドを固定しているねじをご使用ください。
 - 取付部のねじ穴間隔：75mm×75mmまたは100mm×100mm
 - プレート部の厚み：2.6mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンド取り付け時の設置可能な方向および可動範囲（チルト角）は次のとおりです。

設置方向				
可動範囲 (チルト角)	 上：45°	 下：45°	 上：45°	 下：45°

- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

取付方法

1. 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

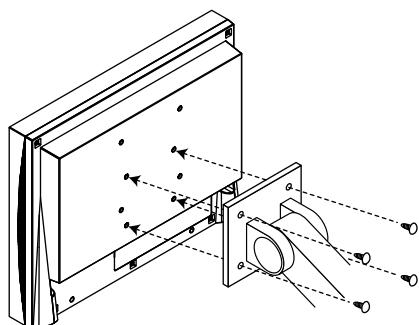
別途ドライバを準備ください。

ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

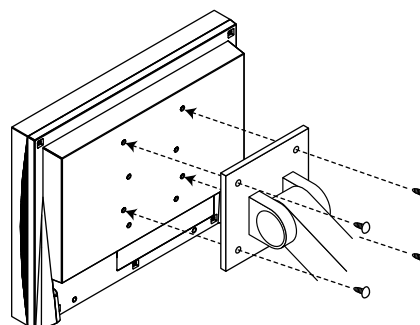
3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。

- ・アームまたはスタンドの取付部のねじ穴間隔：75mm×75mmの場合



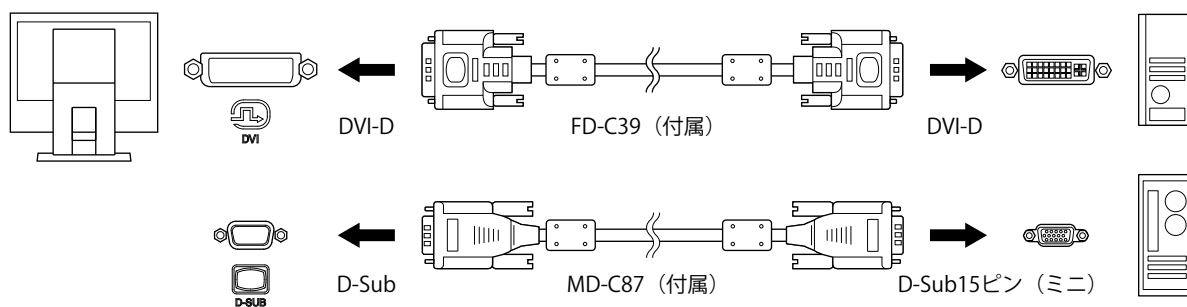
- ・アームまたはスタンドの取付部のねじ穴間隔：100mm×100mmの場合




6-2. 複数のコンピュータを接続する

この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



参考

- ・モニター前面の操作スイッチ（）を押すたびに入力信号が切り替わります。画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。
- ・この製品は、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。詳細は「[Auto Input Detection](#)」（P.22）を参照してください。

6-3. 仕様

液晶パネル	種類	TN (アンチグレア)
	バックライト	LED
	サイズ	38cm (15) 型
	解像度	1024ドット×768ライン
	表示面積 (横×縦)	304.1mm×228.1mm
	画素ピッチ	0.297mm
	表示色	8bitカラー：1677万色
	視野角 (水平/垂直、標準値)	160° / 160°
	応答速度 (標準値)	黒→白→黒：約8ms
映像信号	入力端子	DVI-D×1、D-Sub15ピン (ミニ) ×1
	デジタル走査周波数 (水平/垂直)	31kHz~49kHz / 59Hz~61Hz (VGA TEXT時：69Hz~71Hz)
	アナログ走査周波数 (水平/垂直)	31kHz~49kHz / 55Hz~61Hz (VGA TEXT時：69Hz~71Hz)
	同期信号	セパレート
	ドットクロック (最大)	65MHz
音声	スピーカー	0.5W+0.5W
	入力端子	ライン：アナログ音声入力コネクタ×1
電源	電源入力	AC100V±10%、50/60Hz、0.30A
	最大消費電力	16W以下
	省電力時消費電力	0.5W以下 (製品初期状態)
	待機時消費電力	0.5W以下 (製品初期状態)
機構	外観寸法	346mm×349mm×157mm (幅×高さ×奥行)
	外観寸法 (モニター部)	346mm×280mm×69mm (幅×高さ×奥行)
	質量	約4.7kg
	質量 (モニター部)	約3.4kg
	チルト	上 30° 下 0°
動作環境条件	温度	5°C~35°C
	湿度	20%~80% (R.H.,結露なきこと)
	気圧	540hPa~1060hPa
輸送 / 保存 環境条件	温度	-20°C~60°C
	湿度	10%~90% (R.H.,結露なきこと)
	気圧	200hPa~1060hPa

● オプション

クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」
-----------	---------------------

オプション品に関する最新情報は、当社のWebサイトを参照してください。<http://www.eizo.co.jp>

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i-Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、Screen Administrator、Screen InStyle、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の登録商標または商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

保証書について

この製品の保証書はセットアップガイドにあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・ お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- ・ お買い上げ年月日、販売店名
- ・ 製品名、製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例：S/N 12345678）
- ・ 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS、システムのバージョン / 表示解像度など）
- ・ 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- ・ エラーコード（画面に表示された場合）

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収、リサイクル体制を構築しており、お客様がこの製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引き取りしています。なお、詳細な情報については、当社のWebサイトもあわせて参照してください。

(<http://www.eizo.co.jp>)

法人のお客様

この製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で一般社団法人「パソコン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。

(<http://www.eizo.co.jp>)

個人のお客様

・ PCリサイクルマークの無償提供について

この製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、この製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、当社のWebサイトよりお申し込みください。

(<http://www.eizo.co.jp>)

マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター
EIZO Webサイト：<http://www.eizo.co.jp/support/recycle/personal/index.html>

※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。

(回収担当窓口は、一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにて対応いたします。)

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

・ PCリサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を一般社団法人 パソコン3R推進協会内 パソコンリサイクル受付センターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

・ お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、一般社団法人 パソコン3R推進協会内 パソコンリサイクル受付センターまでお願いいたします。

一般社団法人 パソコン3R 推進協会内 パソコンリサイクル受付センター
電話：044-540-0576
月曜日～金曜日（祝日および同センター指定の休日を除く）10：00～17：00

